東京都稲城市
オンプレミス物理サーバの仮想化に関する
情報提供依頼書(RFI)

本書は、東京都稲城市のオンプレミス物理サーバの仮想化にあたり、仮想化におけるソリューションの情報収集を目的としたドキュメントです。

２０２５年7月１１日

東京都稲城市
企画部ＩＣＴ推進課

1 概要

1.1 本書の目的

本書は、当市が現在運用しているオンプレミス物理サーバ環境の仮想化に関する情報提供を目的として作成された情報提供依頼書（RFI）です。仮想化技術の活用を行うことにより運用コストの削減、物理スペースの削減、運用管理負荷の軽減を図り、より効率的なサーバインフラ運用体制の実現を検討しています。

本 RFI により、貴社のご提案内容や関連ソリューション、導入コスト等を参考に、今後の導入方針および予算の検討を行う予定です。

1.2 背景と目的

【背景】

現在、本市では庁内のサーバインフラとしてはオンプレミス形式での提供を実施していますが、運用コストや運用管理負荷の増大、災害発生時の復旧方法が課題となっております。また、本市では昨今のヒト・モノの費用の高騰により、厳しい財政運営を迫られており、その中で、効率的かつローコストのインフラ運用が求められています。

- 台数：物理サーバ 約 40 台
- 用途：ファイルサーバ、業務アプリケーション、DB サーバ（MySQL）、AD サーバなど
- OS 構成：主に Windows Server 2016／2019、
- 稼働年数：平均 5 年以上（老朽化が進行中）
- 課題：
  ・電源・空調・設置スペースにかかる維持コストの増大
  ・ハードウェア老朽化による障害リスクの高まり
  ・サーバ種別ごとに管理が分散しており、運用・保守負荷が大きい
  ・各課で管理しているサーバについても上述の通り、分散している。

【目的】

これらの課題を解決するため、以下の実現を目指します：

※必須で実現したいもの

- 物理サーバの仮想化による集約・削減（可能であれば半数以下へ）
- 今後、各課で管理しているサーバの集約も検討(拡張性を持った設計)
- システムの安定性・可用性の向上（HA 構成なども視野）
- 管理効率の改善（集中管理・監視が可能な構成）
- 導入・運用にかかる費用感の把握（予算策定のため）

- 庁舎内に仮想化用の物理サーバを設置する構成を前提として検討を
  進めていますが、将来的な運用負荷や災害対策なども考慮し、
  外部のデータセンターやクラウド環境での運用も選択肢に入れて検討しています。

※将来的な対応も視野に入れたいもの

- 柔軟な働き方を可能とするモバイル PC 導入を見据えたクライアント端末の管理方法の
  提案(庁内利用 PC(約 800 台)の仮想化、データレス PC 導入に伴う環境整備など)

1.3 RFI 実施スケジュール

２０２５年７月 11 日 RFI 公募開始
２０２５年７月 11 日 申込受付開始
２０２５年７月 31 日 質問表受付期限
２０２５年８月８日　質問表回答最終版公開
(※各社から頂いた質問を統合し、回答を記入したものを随時公開致します。)
２０２５年９月 10 日 RFI 提出締め切り
２０２６年１月以降 RFP 発行、ベンダー選定

2 RFI 配布資料

2.1 配布資料

A) 東京都稲城市 オンプレミス物理サーバの仮想化に関する情報提供依頼書(RFI)
B) （様式１）情報提供依頼参加申込書 兼 誓約書
C) （様式２）質問表
D) （様式３）対象サーバ一覧表
E) （様式４）ネットワーク構成図
※C 以下に記載のドキュメントは、誓約書の提出をもって送付いたします。

3 RFI 参加表明

RFI への参加を希望される場合は、様式 1 『誓約書』に会社名・所属・担当者名を記入及び押印のうえ、『5.3 提出先/お問い合せ』へメールにてお送りください。
その後、本市よりシステム構成等のデータを担当者宛てに送付いたします。

4 情報提供いただきたい事項

表１に示す書類の提出をお願いします。なお、「東京都稲城市オンプレミス物理サーバの仮想化に関する情報提供依頼書(RFI)」に記載している内容は、あくまでも現時点での検討案ですので、必ずしも全ての要件を満たす必要はありません。また、ご提案の範囲についても、一部の機能やソリューションに限定したものでも構いません。

表１提出書類について

No	提出書類	様式	内容
1	見積書(概要)	任意様式	「東京都稲城市オンプレミス物理サーバの仮想化に関する情報提供依頼書(RFI)」をもとに、貴社が提案する本件に関する見積の提出をお願いします。 見積対象期間は、令和８年度～令和１３年度の５年間です。（令和８年度の契約後～令和８年１０月までが構築移行期間、令和８年１１月～令和１３年１０月末までが保守運用期間になります。）
2	見積書(明細)	任意様式	任意様式で見積明細の提出をお願いします。 なお、見積には「一式」などの一括表記を用いず、必ず個々の項目についての「標準価格」、「提供価格」が判別できるように記載するとともに、見積総括表と年度ごとの経費や、5 年間の総合計金額が一致するようにしてください。 データセンターのサービスをご提案頂く際は、データセンターの利用料・庁舎からデータセンターまでの回線利用料等必要な情報も併せてご提示ください。
3	提案書	任意様式	貴社が提案するシステムについて、下記１～５の内容に沿って提案書等の提出をお願いします。 なお、提案書には以下の項目を必ず含めるようにして下さい。 下記以外で追加した方が良いメリットや特徴などは任意で追記頂いて構いません。 【1.ソリューションの概要】 - 仮想化基盤として提案可能な製品・サービス（例：VMware vSphere、Hyper-V、KVM 等） - 提案するシステム構成の考え方（コンセプト） - ソリューションの構成イメージ（基本構成図などがあれば歓迎） - 必要となるハードウェアのスペック例 【2.導入スケジュールのイメージ】 - 要件定義～設計～構築～移行までの工程と想定期間 - 既存サーバからの移行支援の有無と方法（P2V など）

			【3.概算費用】 - 初期導入費用の概算（ライセンス、ハードウェア、構築作業含む） - 年間運用費用（保守、サポート、ライセンス更新等） - オプション費用（HA 構成、バックアップ、監視ツール等） 【4.保守・サポート体制】 - 問い合わせ対応時間・体制 - 障害発生時の対応 SLA 例 - アップデート・セキュリティパッチ適用支援の有無 【5.実績・導入事例】 - 類似業種または規模の導入事例 - ユーザー評価や改善事例など ※なお、[1.2 背景と目的]の目的にあるデスクトップ仮想化については現段階では費用感を把握したいため、可能であれば想定経費を記載ください。
4	質問表	本市が定めるもの	本 RFI に関する質問については、こちらの表に質問事項を記載し、ご連絡をお願いします。 質問がない場合は、本書類の提出は不要です。
5	対象サーバ一覧表	本市が定めるもの	移行対象及び、非機能要件を様式 3『対象サーバ一覧表』に纏めていますので、見積もり及び、提案書作成のご参考にして頂ければと思います。
6	ネットワーク構成図	本市が定めるもの	移行対象のネットワーク構成図を様式４『ネットワーク構成図』に纏めていますので、見積もり及び、提案書作成のご参考にして頂ければと思います。

5 情報提供のお手続き

5.1 RFI 回答締め切り

見積及び回答の提出については、次の期限までに『5.3 提出先/お問い合せ』にメールでお送りください。また、お手数ですがメールの送信後は、送信した旨を電話で担当者までお知らせください。

※期限を過ぎる場合、または提出を辞退する場合は同窓口までご連絡をお願いします。

２０２５年９月１０日　１７時　提出締め切り

5.2　提出物

デジタルデータでの提出をお願いいたします。

5.3　提出先/お問い合わせ

本情報提供依頼書の提出は、以下のアドレスへ次のタイトルの電子メールにてお願いいたします。

件名：
【RFI 回答】(貴社名) 稲城市仮想化基盤について

本書に関するお問い合わせについても、以下のアドレスへ定型タイトルの電子メールにてご連絡をお願いいたします。

件名：
【RFI 質問】(貴社名) 稲城市仮想化基盤について

可能な範囲で回答させていただきますが、場合によっては回答できないこともございますので、予めご了承ください。

２０２５年７月３１日以降にもご質問事項ございましたら、こちらにご連絡ください。

・担当窓口　　：企画部ＩＣＴ推進課
・担当者　　：中村・梅田
・電子メールアドレス：i-densan@city.inagi.lg.jp

6 留意事項

- 本書では、情報提供を主目的としており、将来の発注や契約を約束するものではありません。
- 情報提供をいただけなかった事業者について不利益に扱うことは一切ありません。
- ご提供いただいた資料は、本市内部での検討資料として利用します。その際、貴社に断りなく、本市関係職員以外の者へ提供することはいたしません。
  ただし、本市内部での検討の際には、本計画の支援業務を契約しているコンサルティング会社が回答資料を閲覧します。あらかじめご了承ください。
- ご提供いただいた資料については、返却いたしません。
- ご提供いただいた資料の内容について、後日問合せを行う場合があります。
- 情報提供に関する費用については各事業者にてご負担をお願いします。

以上